



2023年5月26日

各 位

会 社 名 株式会社コンフィデンス
代表者名 代表取締役社長 澤岷 宣之
(コード番号：7374 東証グロース)
問合せ先 取締役 管理本部長 永井 晃司
(TEL. 03-5312-7700)

株式会社インターワークスとの合併に関する補足説明資料（書き起こし）公開に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日に締結いたしました株式会社インターワークスとの合併に関する内容の補足説明を本日15時半より動画配信という形で公表いたしました。当該説明内容について、株主ならびに投資家の皆様への公平な情報開示の観点から、株式会社インターワークスとの合併に関する補足説明資料（書き起こし）として公開することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式会社インターワークスとの合併に関する補足説明資料（書き起こし）の概要

当資料は、本日公開しました配信動画の中で説明を行いました内容を書き起こし資料としてまとめ、その内容を共有するものであります。

ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております点、ご容赦ください。

2. 参考情報

決算説明動画 URL を以下に掲載しておりますので、併せてご確認くださいませようお願い申し上げます。

【株式会社インターワークスとの合併に関する補足説明】

1. 公開日時：2023年5月26日（金） 15:30～
2. 説明者：代表取締役社長 澤岷 宣之

■本動画はこちらからご確認くださいませ

[株式会社インターワークスとの合併に関する補足説明](#)

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社コンフィデンス IR 担当

TEL：03-5312-7700 E-Mail：ir@confidence-inc.jp

以 上

2024年3月期

株式会社インターワークスとの 合併に関する補足説明資料

「株式会社コンフィデンス」及び「株式会社インターワークス」は、
2023年5月12日の各社の取締役会決議にて、
2023年8月1日を効力発生日として、両者の合併を決議し、吸収合併契約を締結いたしました

2023年8月1日(予定)

株式会社コンフィデンス・インターワークス

証券コード:7374

澤岬宣之(以下、澤岬):

みなさま、こんにちは。

株式会社コンフィデンス代表の澤岬でございます。

本日はこちらの動画をご視聴いただき誠にありがとうございます。

本日は、先日5月12日にリリースさせていただきました、

株式会社インターワークスとの合併に関する、補足の説明をさせていただきます。

宜しくお願い致します。

1. 本件の概要

2. 統合の目的・シナジーについて

3. 統合後の目指すべき姿

4. FAQ

Appendix.

澤岬:

まずはじめに、本日のアジェンダはこちらとなります。

株式会社インターワークスとの合併契約締結について

- 2023年8月1日(予定)に株式会社インターワークスとの経営統合を予定し、2023年5月12日に合併契約を締結
- 新会社名は、株式会社コンフィデンス・インターワークス(英文表記:Interworks Confidence Inc.)



澤岬:

5月12日に公表致しました通り、
両社の株主総会でご承認されましたら2023年8月1日より、
株式会社コンフィデンス・インターワークスとして事業運営を行っていく予定となります。

1. 本件の概要

2. 統合の目的・シナジーについて

3. 統合後の目指すべき姿

4. FAQ

Appendix.

澤岬:

統合の目的およびシナジーについてでございます。

本経営統合の背景・目的

■ 経営統合の目的



① 人材ビジネスの領域拡大・クロスセルによる事業成長

② メディア事業の強化

③ 経営基盤の強化・管理コストの削減

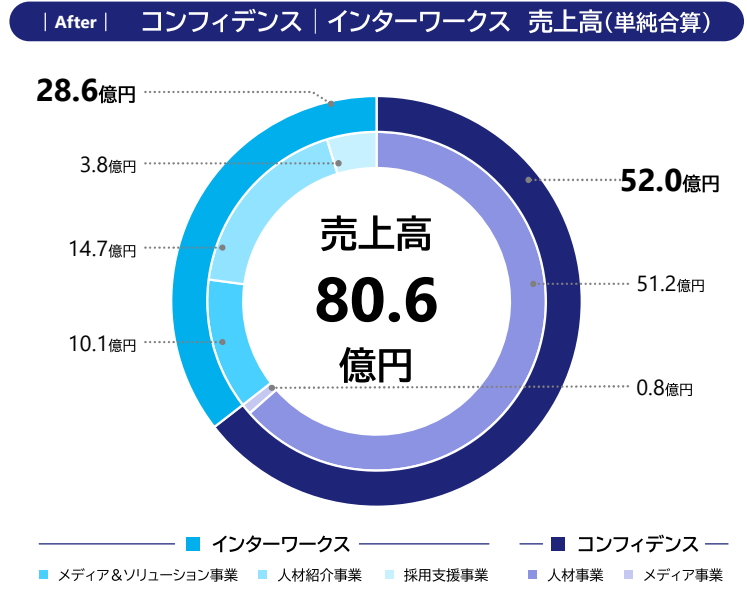
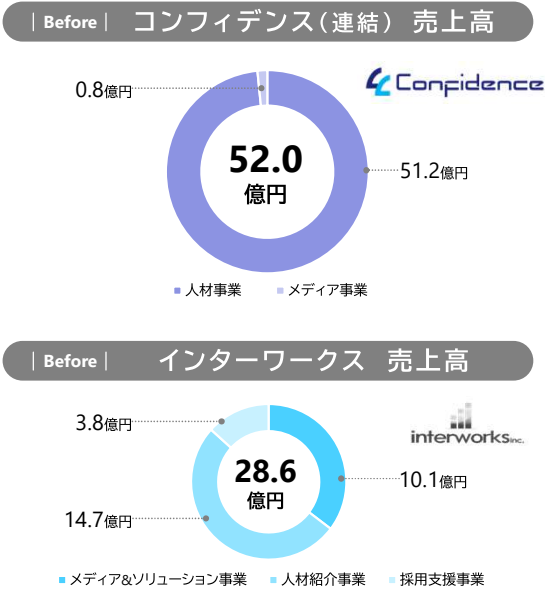
澤岬:

本経営統合の主な目的はこちらに記載の3点となります。

このパートでは事業面を中心に説明をいたします。

各社の財務数値および事業セグメントの状況(2023年3月期)

2023年3月期の売上高(実績)



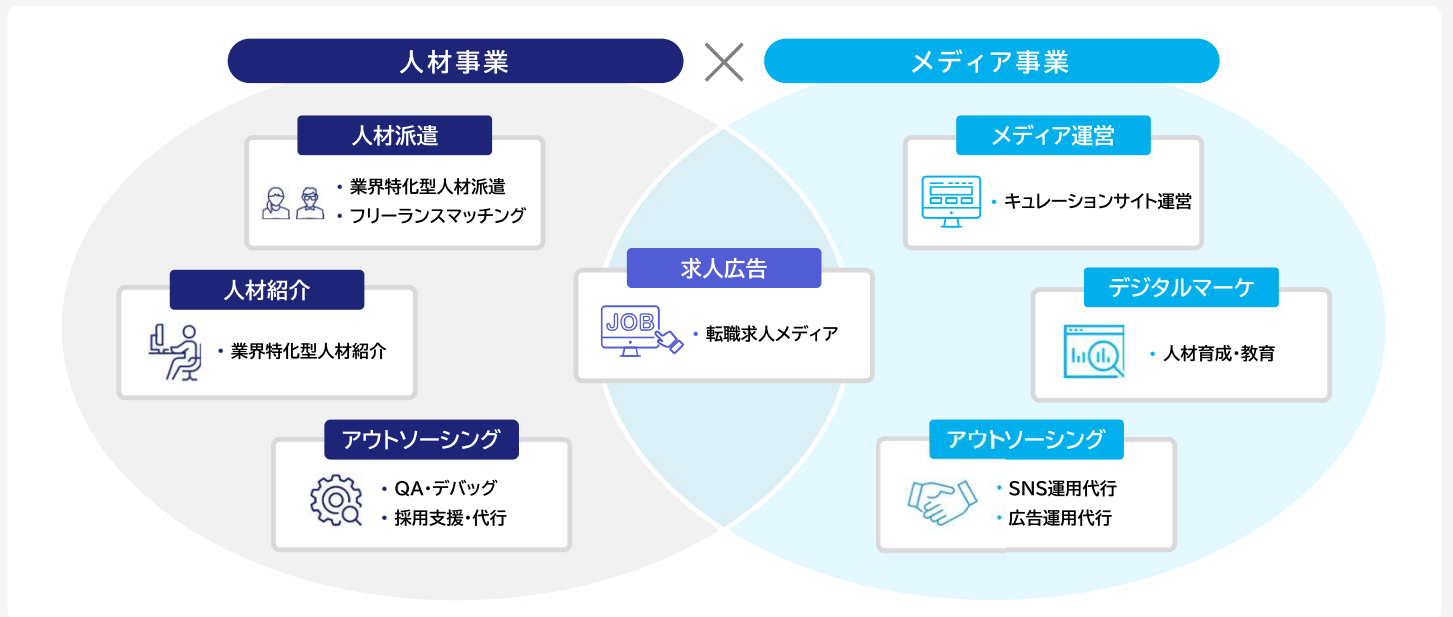
澤岬:

まず始めに、こちら左側がコンフィデンスとインターワークスの2023年3月期の売上構成比、右側がそれを単純合算したものとなります。

現時点で当期の業績予想は双方とも公表しておりませんが、直近期末実績での単純合算ベースでは売上高は80億円規模でございます。

統合後の事業概要

- コンフィデンスの主力の人材派遣事業、インターワークスの主力の求人広告事業・人材紹介事業は非常に親和性の高い領域
- 人材事業・メディア事業における両社の得意とする事業領域を活かし、サービスラインナップを拡大し、クロスセルによる事業拡大を図る



澤岬:

統合後のサービスラインナップはこちらです。

人材事業についてはこれまでの主力の派遣事業に加えて人材紹介が強化され、さらに採用支援事業が加わります。

また、メディア事業については、従来のSEOメディア運営やSNS等のプロモーションの受託に加えてインターワークスで長年培った求人メディアでの運営知見が加わることで、人材事業との接続性をより一層強化することが実現されます。

取引先企業数や業界も広がるため双方の事業を連携させることで、クロスセルでの収益拡大を図ることはもちろんの事、知見を活かした新たな事業の創出にも挑戦をして参ります。

1. 本件の概要
 2. 統合の目的・シナジーについて
 - 3. 統合後の目指すべき姿**
 4. FAQ
- Appendix.

澤岬:

続いて、統合後の目指すべき姿についてでございます。

統合後の成長戦略

成長戦略

上場時に公表した「**6つの成長戦略**」に沿った形での、成長を加速させるための統合

事業領域×業界の拡大



顧客深耕による派遣事業の
圧倒的シェア獲得



人材サービスの業容拡大
業界 | エリア | 契約形態



クロスセル強化による
取引機会の最大化



受託事業の拡大による
規模拡大と知見蓄積



エコシステムの確立による
経営効率向上



マッチングソリューションの拡大
新領域への展開について

澤岬:

まず、改めて当社の成長戦略について説明を致します。

当社が上場時に掲げた成長戦略においては、最優先すべきは左上のゲーム領域における派遣事業のシェアの拡大となります。

こちらについては着実にクリエイター派遣配属人数が増えるなど、進捗して今日を迎えております。

今後も、この方針をぶらすことなく進めてまいりますので、戦力の分散等はないものとお考え下さい。

続きまして、左側2番目のクロスセルの強化となります。これまで当社で行ってまいりました、人材派遣以外のサービスとして人材紹介、ゲームデバッグ、SNS運用等のプロモーションの受託、こちらのサービスに加えて今回の統合により人材紹介の機能は大幅に強化され、また、採用支援事業のラインナップが加わることであります。

これらを活かして、ゲーム業界における収益の最大化が加速するものと期待をしております。

そして、左側3番目は、各ビジネスにおける循環性の強化となります。

これまで当社で進めてまいりました人材事業とメディア事業の連携に加えて今回インターワークスの求人メディアで長らく培ってきた豊富な知見をもとに、より循環性の高いメディアと人材事業の連携が図られるものと期待しております。

右側に移りまして、人材事業の領域拡大について、これまで当社で進めてまいりました人材派遣事業に次ぐサービスラインアップの拡充については、人材紹介、フリーランスマッチング、また、エリアについては大阪、福岡への拠点展開、これらが今回のインターワークスとの合併によって、さらに加速する形となります。

拠点ネットワークについては、名古屋が加わり、そして、対象領域については彼らの取引先となっております大手企業、そして、様々な業界が今後の進出の選択肢となってくるものと期待しております。

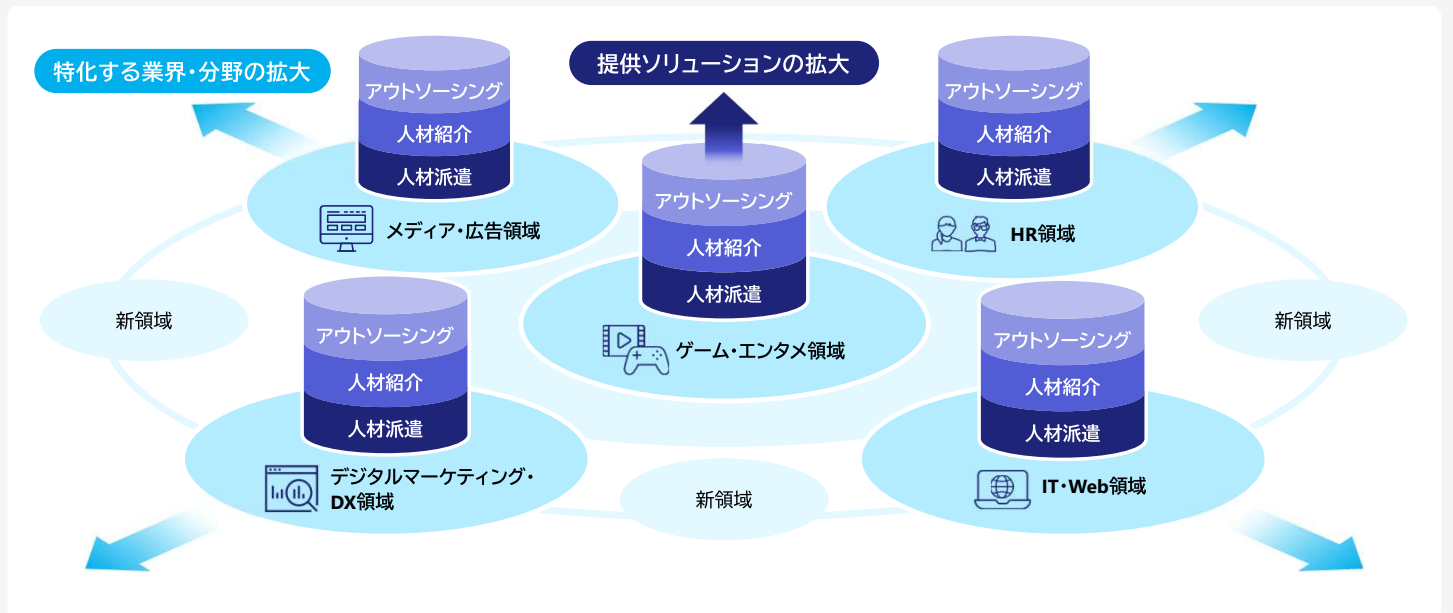
また、受託領域における拡大については、彼らの持つ採用支援事業や取引先企業とのネットワークを活かして、今後ゲーム業界以外の業界での知見の蓄積や、

これまで当社で手掛けていたサービスラインナップ以外の項目についての受託実績が加わるものと期待しております。

それらの知見を活かして、これまで当社と取引がなかった領域や会社、そして様々なサービスを掛け合わせることによる進化によって、新たな事業の創出も図っていきたい、そのように考えております。

対象とする領域・サービス(イメージ)

- 現状は、ゲーム・エンタメ業界に特化した人材事業を展開 → 統合後は、提供ソリューションの拡大や、クロスセルでの取引が可能に
- 成長性と収益性の両立という当社の経営方針を変えることなく、**専門特化したカテゴリNo1**を増やすことで、事業拡大を目指す



澤岬:

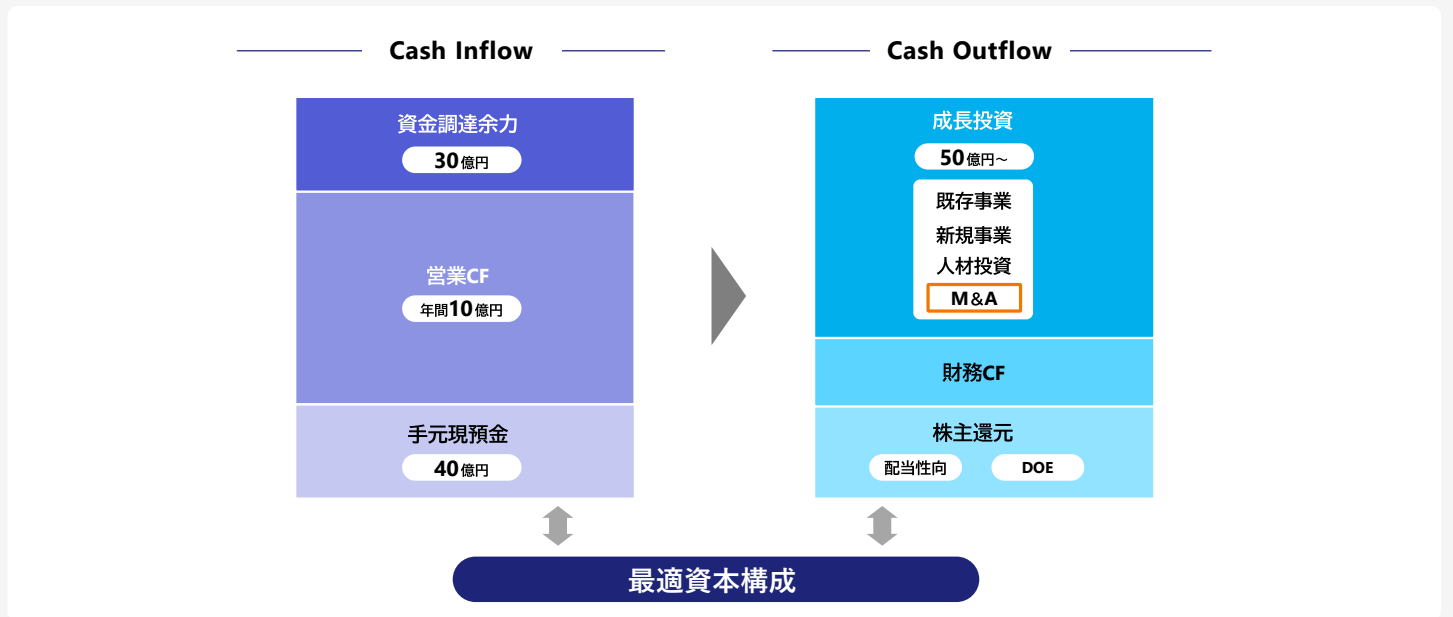
これまで当社が手掛けてきたゲーム・エンタメ業界における人材事業に加えて
今回インターワークスの取引先である

IT・WEB、メディア、DX、HR関連等、様々な取引先ネットワークが加わることとなります。

提供できるサービスラインナップも拡充されますので当社の経営方針であります、
成長性と収益性の高いレベルでの両立、こちらをぶらすことなく、
各領域に専門特化をしたカテゴリNo1を増やしていきたい、そのように考えております。

統合後の資金配分の考え方

- 本合併を踏まえ、**資金余力は十分**に存在することから、当該資金の配分として、これまでの既存事業への成長投資に加え、**M&Aも強化**
- また、純資産規模も十分拡大することから、今後は保有する現預金水準に加え、**金融機関からの借入**も視野に入れて投資実行予定



澤岬:

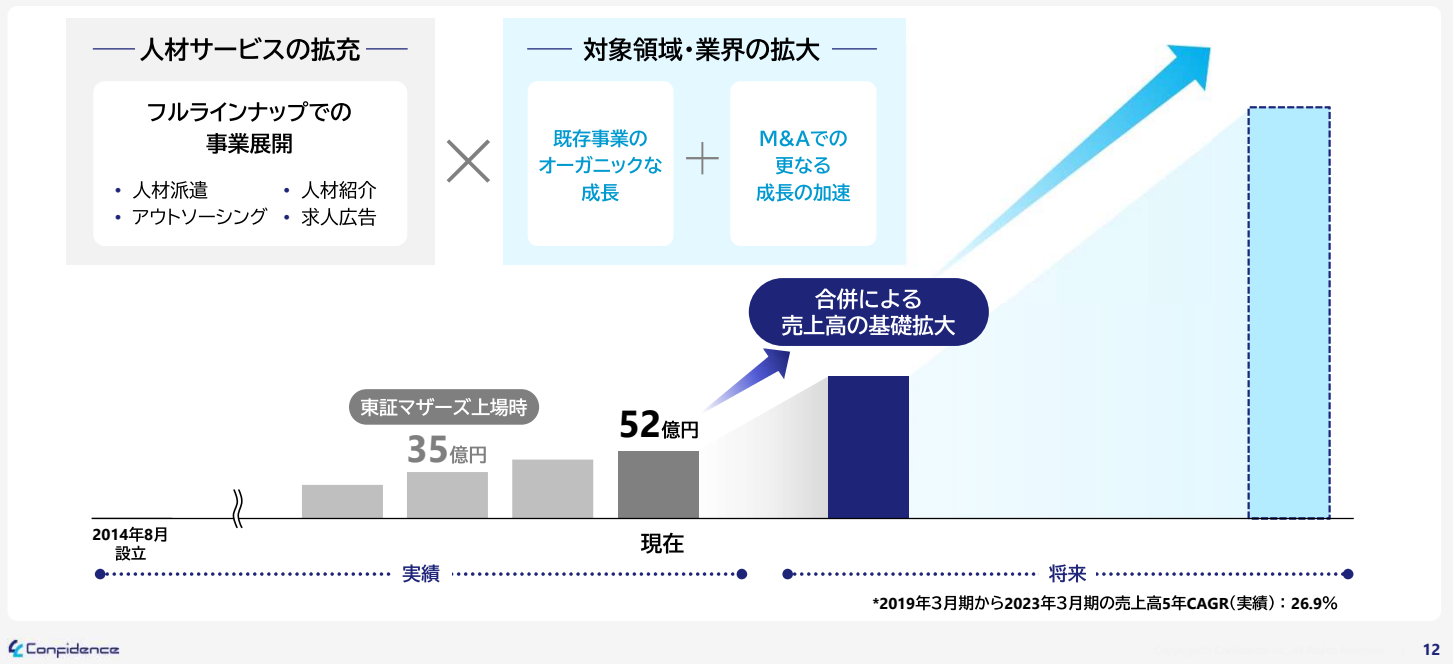
続きまして、こちらが、統合後の資金配分の概要図となりますが
今回の合併により、財務基盤が強化されます。

従来から行っております事業成長に向けた広告・設備、優秀な人材採用に関する戦略投資は続けながら、

今回の合併によって強化された財務基盤を活かして、今後、M&Aに関しても選択肢が広がってくると期待しておりますので、積極的に検討して、然るべきタイミングで実行していきたいと考えております。

将来の成長イメージ

- コンフィデンス単独でも上場時から順調に成長を続けていたことに加え、合併による売上高のベースが増加
- 事業規模拡大の過程で、既にプライム市場で上場している会社と勝負ができる企業へ変わることを目指す



澤舩：

以上の説明を踏まえた、将来の成長イメージがこちらとなります。

上場時からコンフィデンス単体で順調に成長を続けてきておりますが、今後のプライム市場への上場と、また、プライム市場で勝負できる企業体になっていくことを目指し、今回の統合を踏まえた双方の事業の更なる成長と、積極的なM&A戦略によって、更なる企業価値向上に努めて参りたいと考えております。

プライム市場への移行に向けて

- 23年3月末のコンフィデンス単体において、未達となるプライム市場の要件についても、本件実行後は要件達成が視野に入る水準に

■ プライム市場への移行：定量基準

			2023年3末	統合後
流動性	株主数	800人以上	○	○
	流通株式数	20,000単位以上	×	○ (見込)
	流通株式時価総額	100億円以上	×	早期達成を目指す
	売買代金	時価総額250億円以上	×	早期達成を目指す
ガバナンス	流通株式比率	35%以上	○	○ (見込)
経営成績・ 財政状態	収益基盤	最近2年間の利益合計が25億円以上	×	早期達成を目指す
	財政状態	純資産額50億円以上	×	○ (見込)

澤岷:

プライム市場への上場については
ご存じの通り、こちらの要件を満たすことが必要となります。

まずは、経営成績における収益基盤を早期に達成させた上で
その他の項目について、順次基準をクリアすることで、近い将来のプライム市場への上場を果たしたい、
そのように考えております。

以上が、本統合以降、当社の目指すべき姿に関する説明となります。

目次

1. 本件の概要
 2. 統合の目的・シナジーについて
 3. 統合後の目指すべき姿
 - 4. FAQ**
- Appendix.

澤岬:

最後に、事前に株主・投資家の皆さまからいただきました質問について、
回答させていただきます。

Q1.

配当について、統合後はどのような方針で考えていますか？
今後も継続的に配当がなされると考えていてよいのでしょうか？

澤岬:

こちらのご質問の件でございます。

配当について、安定的かつ継続的な配当を継続するという方針に変更はございません。

また、目標指標も、資本効率の向上と、株主の皆さまへの還元の双方を重視し、「配当性向」と「DOE」を引き続き重要な指標として設定してまいります。

しかしながら、今回の合併によって、計算の基礎となる前提条件も変わってきておりますので、当期配当予想や目標値については、再度検討の上、業績予想の発表時と併せて、開示をさせていただきます。

Q2.

インターワークスの本社機能をコンフィデンスに統合し、
効率化を図っていくと思いますが、
効率化で余ったリソースはどこに割り振る予定でしょうか？

そのまま本社機能に配置していると、コンフィデンス単体よりも
効率が落ちてしまうため、営業、開発等の重点領域に異動させるべきかと思いますが、
お考えをお聞きできますでしょうか？

澤岬:

続いてこちらの件でございます。

現時点での詳細な回答は差し控えさせていただきますが、

これまで同様に事業運営の効率化による高水準な利益率の維持を目指して参りますので
事業部門、管理部門問わず、最適な人数での筋肉質な経営を前提として参りますが
今回の合併に伴っては、双方の従業員の心情を考慮する必要もございますので、
双方の事業や組織文化を理解した上で、丁寧な説明と合意形成を行って、
最適な組織運営に移行していきたいと考えております。

また、現時点では、人員削減等は想定しておらず、双方の強みを活かした強固な組織体とすることで
将来の成長に耐えうる体制にしていきたいと考えております。

Q3.

現預金比率が70%程度ありますが、今後何%程度を目安に
現金同等物を保有する予定でしょうか？

また、インターワークスの現金も含めると、無借金で35億円程度の現金同等物を
保有することになりますが、資金の使い道について、
(a)増配、(b)自社株買い、(c)成長への投資に使用する
配分のイメージを教えてくださいませんか？

澤岬:

続いてこちらのご質問の件でございます。

現金同等物の今後の保有比率については、具体的な回答は控えさせていただきますが、
通常の営業に支障のない範囲を確保した上で、積極的な成長投資を行っていただくの
余力ができていると考えております。

また、今後の資金配分は、先ほど11ページ目でもお話しした通りとなりますが、
金融機関からの外部借入も一定程度可能と考えておりますので、
その中で資金余力を踏まえ、M&Aを含めた成長投資に充てるのが最優先と考えております。

先程お答えした、株主還元の方針に加えて資本効率を勘案したうえで、
自社株買い等についても検討していきたいと考えております。

Vision

プロフェッショナルの力と 可能性を信じ、共に未来を創り出す

本資料のお問い合わせ先: 管理本部 (ir@confidence-inc.jp)

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

澤岬:

現状、事前にいただいておりましたご質問に対して、この場を通じてご回答いたしました。その他、ご質問等ございましたら、こちらに記載の問い合わせ先より、ご連絡ください。

以上をもちまして、当社からの本日の説明を終わりたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

1. 本件の概要
2. 統合の目的・シナジーについて
3. 統合後の目指すべき姿
4. FAQ

Appendix.

【参考】当社概要

Vision

クリエイティブの最前線で 共に未来を描く

クリエイターが
キャリアアップにより自らの夢を実現し、
携わった作品が評価され、
所属する組織、業界、社会が発展する未来を
共に創りあげていく



会社名	株式会社 コンフィデンス		
代表者	代表取締役社長 澤岷 宣之 1996年㈱スタッフサービス入社 人事部採用責任者を経て、㈱スタッフサービス・セールスマーケティング入社、取締役営業本部長として派遣・紹介・アウトソーシング等の各事業部の成長を牽引。2015年より当社代表取締役に就任、現在に至る		
設立	2014年8月		
本社	東京都新宿区新宿2丁目19番1号 ビッグス新宿ビル10階		
支店・スタジオ	【大阪支店】大阪府大阪市北区芝田1丁目12番7号 大栄ビル新館9階 【福岡支店】福岡県福岡市中央区天神1丁目4番1号 西日本新聞会館15階 新設 【QAスタジオ】東京都新宿区新宿2丁目19番13号 坂善新宿ビル 移転・増床		
連結子会社	株式会社 Dolphin 株式会社 コンフィデンス・プロ 2023年4月3日設立		
役員	代表取締役社長 澤岷 宣之 専務取締役 吉川 拓朗 取締役 永井 晃司 社外取締役 雨宮 玲於奈 社外取締役 水谷 翠	社外取締役 三木 寛文 社外取締役 青木 利則 社外監査役 谷地 孝 社外監査役 安國 忠彦 社外監査役 藤森 健也	
資本金	508百万円(2023年3月末時点)		
事業内容	ゲーム・エンタメ業界向け人材派遣・人材紹介・業務受託、メディア運営		
従業員数	958名(2023年3月末時点)		



【参考】会社概要：株式会社インターワークス



会社名	株式会社インターワークス			
代表者	代表取締役社長 松本 和之			
設立	1991年3月			
本社	東京都港区西新橋1丁目6番21号 NBF虎ノ門ビル8階			
拠点	【大阪】大阪府大阪市淀川区西中島5丁目5番15号 新大阪セントラルタワー南館10階			
	【名古屋】愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目10番22号 メットライフ名駅南ビル3階			
決算期	3月			
役員	代表取締役社長	松本 和之	常勤監査役	丸田 善崇
	取締役	藤森 健也	社外監査役	高倉 潔
	社外取締役	清水 新	社外監査役	山口 財申
	社外取締役	早川 与規	執行役員	前田 拓郎
			執行役員	工藤 政嗣
資本金	172百万円（2023年3月末時点）			
事業内容	メディア&ソリューション事業・人材紹介事業・採用支援事業			
従業員数	190名(2023年3月末時点)			

【参考】各社の事業内容

- コンフィデンスはゲーム業界向け人材派遣事業を中心に、インターワークスは、製造業向け求人広告事業、人材紹介事業を中心に事業展開
- 人材事業の主なサービスに照らして、相互補完できる関係に

		
人材派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム・エンタメ業界向け人材派遣 ・ゲーム・エンタメ業界向けフリーランスマッチング 	-
アウトソーシング・BPO	<ul style="list-style-type: none"> ・QA受託 ・広告運用代行 SNS運用代行 	<ul style="list-style-type: none"> ・採用支援・代行
人材紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム、IT・Web業界向け人材紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業向け人材紹介 ・建設・不動産業界向け人材紹介 ・IT・コンサル向け人材紹介
求人広告・メディア運営	<ul style="list-style-type: none"> ・女性向け/占いメディア「Lovely」/「Plush」 ・Web3関連のインタビューメディア「GAMEMO」 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業向け求人サイト「工場ワークス」 ・情報系メディア「工場タイムス」

【参考】新会社の概要(予定)

会社名 株式会社コンフィデンス・インターワークス

英文表記 Interworks Confidence Inc.

上場市場 東証グロース市場

証券コード 7374

代表 代表取締役社長 澤岷 宣之

本社 東京都新宿区新宿2丁目19番1号 ビッグス新宿ビル10階

事業内容 人材派遣業 | 人材紹介事業 | メディア事業 | 採用支援事業

決算期 3月末

役員体制

代表取締役社長 澤岷 宣之 常勤 経営全般

専務取締役 吉川 拓朗 常勤 人材・メディア事業管掌

常務取締役 工藤 政嗣 常勤 紹介事業管掌 **新任**

取締役 永井 晃司 常勤 管理本部管掌

社外取締役 雨宮 玲於奈 非常勤

社外取締役 水谷 翠 非常勤

社外取締役 三木 寛文 非常勤

社外取締役 早川 与規 非常勤 **新任**

社外監査役 谷地 孝 常勤

社外監査役 丸田 善崇 非常勤 **新任**

社外監査役 安國 忠彦 非常勤

社外監査役 藤森 健也 非常勤

【参考】統合に伴う経営体制の強化 新任取締役

- 2023年8月以降、以下2名が新任取締役として就任予定(2023年6月28日開催の株主総会で選任決議の上、正式決定)
- 工藤氏には、統合後の人材紹介事業を管掌の上、紹介事業の更なる成長の加速を期待
- 早川氏には、上場会社経営者としての豊富な経験・知識を活かし、当社の更なる成長に係る支援、ガバナンス観点での監督、助言を期待

工藤 政嗣 (くどう まさつぐ)

常務取締役(常勤)

主な経歴

株式会社レスキューネットワーク(現 株式会社タイムズコミュニケーション)執行役員、株式会社スリーピース取締役、株式会社エス・エム・エス シニアセールスマネージャー等を経て、株式会社インターワークスに入社し、執行役員に就任。同社で人材紹介事業の責任者として、同事業の事業成長に寄与。

期待役割

多様な業種における事業を経験し、直近では当社との合併を予定している株式会社インターワークスの執行役員として、人材紹介事業を牽引することで同社の事業成長に寄与。

当社参画後においても、統合後の紹介事業の管掌役員として十分な役割を果たし、当社グループの成長を加速させることを期待

業界経験

事業戦略

営業・
マーケティング

IT・デジタル

早川 与規 (はやかわ とものり)

取締役(社外取締役)

主な経歴

株式会社博報堂を経て、株式会社サイバーエージェント常務取締役に就任。同社で取締役副社長兼COOとして従事した後、株式会社インタースパイア(現ユニテッド株式会社)を設立し、現在は同社代表取締役社長兼執行役員として従事。また、株式会社インターワークス社外取締役、ユニテッドマーケティングテクノロジー株式会社取締役、株式会社プリューアス取締役等、複数の取締役を兼職。

期待役割

現在においても、ユニテッド株式会社代表取締役社長兼執行役員の他、複数の取締役を兼職しており、経営者としての豊富な経験と幅広い知識、人脈を有していることから、当社グループの更なる成長に係る支援を期待

併せて、当社事業領域全般における意思決定の妥当性・適正性の確保にあたって専門的な観点から取締役の職務の執行に関する監督、助言をいただくことを期待

業界経験

企業経営

事業戦略

上場会社役員

M&A、投資

【参考】本経営統合のスケジュールおよび2024年3月期 連結業績 | 配当予想の取扱い

■ 経営統合スケジュール

合併契約締結日	2023年5月12日
定時株主総会決議日 (株式会社インターワークス)	2023年6月23日 (予定)
定時株主総会決議日 (株式会社コンフィデンス)	2023年6月28日 (予定)
最終売買日 (株式会社インターワークス)	2023年7月27日 (予定)
上場廃止日 (株式会社インターワークス)	2023年7月28日 (予定)
合併の効力発生日	2023年8月1日 (予定)

■ 2024年3月期 連結業績予想 | 配当予想

本件の影響を含め、当期の連結業績予想および、配当予想を正確に算定することが困難であることから、現時点で「未定」とさせていただきます。

なお、今後、予想値の開示が可能となった時点で速やかに開示を行う予定であります。